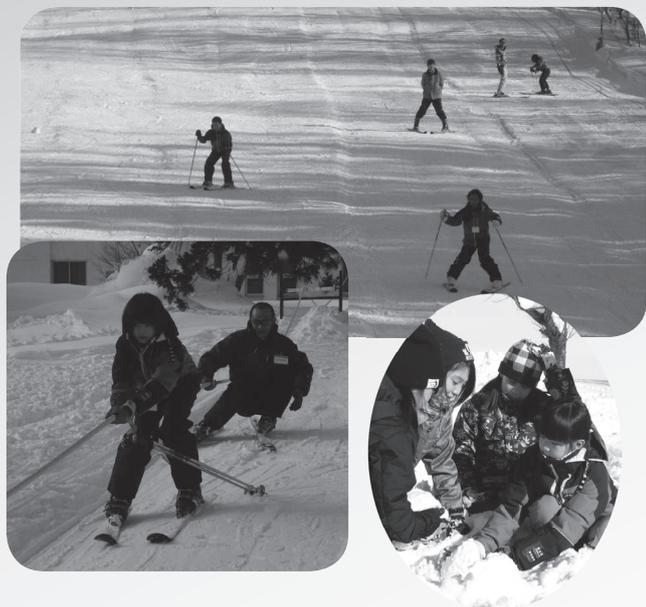


香美市児童 10 名が冬の積丹へ 町内3小学校児童5名が香美市へ



～初めて見る雪に感動～ 冬の積丹を大いに満喫！

2月1日から4日間の行程で、姉妹都市高知県香美市内の小学校児童10名（引率3名）が来町しました。

昨年の積丹町訪問の試行を経て、今回本格的な冬の交流が行われました。

来町した児童たちは、野外スポーツ林スキー場でスキーを体験したほか、美国小学校を訪問し、町内小学校の5・6年生と一緒に、雪合戦や雪像づくりなど、冬の北海道ならではの生活や遊びを通して、友情を深めました。



また、積丹観光協会の協力のもと、白川好子さん（日司町）を講師に招き「ホッケの捌き方」や捌いたホッケを使った「すり身づくり」を体験。出来上がったすり身は「すり身汁」にしておいしく食べ、当町の食文化を学びました。

町内の家庭でのホームステイでは、除雪の体験など、北海道の冬の生活を体験しました。

子どもたちからは、「スキーや雪合戦をして楽しかった」など、初めて見るたくさん雪に感動し、冬の積丹を満喫していました。

～当町の児童も香美市へ～ 小学校生活の思い出に！

1月11日からの4日間は、美国・野塚・余別小学校6年生の児童5名が高知県香美市を訪問しました。

児童たちは、香美市内で名産のフラフ（旗）作り体験や国の天然記念物に指定されている鍾乳洞の龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知市内の高知城や桂浜などを見学したほか、香美市立山田小学校を訪問し、積丹町の紹介を行ったり、給食と一緒に食べるなど楽しい時間を過ごしました。さらに香美市児童宅へのホームステイも行われ、南国四国の生活体験と互いの交流を深めました。

参加した児童の感想文には、フラフ作りや鍾乳洞散策の体験、各施設での思い出などが綴られていましたが、全員が一番心に残ったのは、香美市の同世代の仲間たちとの交流だったようで、児童たちにとってかけがえない思い出となりました。

これからの未来を担う新しい世代の交流の発展に期待しましょう。



2018 しゃこたん 夢あかり



今年で15回目となる町商工会（山本俊三会長）主催の「しゃこたん夢あかり」が2月10日に開催されました。

今年も各家庭や事業所の玄関前には、人気キャラクターなど趣向を凝らした雪像やスノーキャンドルが飾られ、午後5時の花火と同時に街中が温かい光に包まれました。

当日は雨が降る悪天候でしたが、約3千個の幻想的なキャンドルの光が街を照らしていました。

美国町の中央交差点付近のメイン会場では、同会女性部がかぼちゃスープを無料で提供したほか、肉まんや平八ザンギ、やまとみ串セットの販売を行い、来場者で賑わいました。

またこの日は、地方創生実証実験事業で旧積丹牧場で飼育している馬による「馬そり体験」も行われ、約70人が馬そりを楽しみました。

もうすぐ1年生！

今年は7人が入学



もうすぐ待ちに待った小学校の入学式です。今春、入学を迎える児童は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた次の7人です。

■ 美国小学校 (4人) (児童・保護者の順、敬称略)

石川いちか 一寿 嶋田聖^{いぶき}楓^き 雅彦

佐藤飛^{あすか}鳥^か 正仁 福島勇^ゆ空^う 亜明

■ 余别小学校 (2人) ■ 野塚小学校 (1人)

柏崎実^み来^く 祐毅 工藤樹^{いつき} 拓斗

野宮湊^{そうすけ}輔^け 之昌